

平成15年度ボランティア活動推進事業報告

(1)市民啓発活動

小・中学校のクラブ活動、総合的な学習の時間、地域等に出向き、児童や生徒が地域のなかで共に生きる ことの大切さをボランティア、地域の商店の協力により、世代間の交流、福祉体験等に努めた。

- ・福生第五小学校 囲碁将棋クラブへ年間13回ボランティアの協力で実施
- ・学童クラブ武蔵野台クラブでの手話学習をボランティアの協力で実施。
- ・親子日曜大工講座の開催
地域の商店の協力により実施。

平成15年8月24日(日) 午前9時から12時30分 会場 樋口商店前 参加者数14名
・市内小・中学校の総合的な学習の時間、高校、児童館へボランティアとともに協力、実施。

日 時	学校名等・学年	内 容	ボラ派遣数
10月7日	四小 6年生	車椅子体験	23
10月16日～4回	七小 6年生	車椅子、手話、点字、	67
10月18日	二小PTA親子まつり	車椅子体験	10
11月5日	福生高校定時制	講師派遣	1
11月11日	四小 6年生	疑似体験、アイマスク、点字、手話	20
11月18日	四小 5年生	車椅子体験	15
12月17日	二小PTA親子福祉体験	車椅子、手話、点字、アイマスク	42
1月23日	二小 くまがわ学級	もちつき大会	2
1月28日	武蔵野台児童館	車椅子体験	6
1月30日	三小 6年生	車椅子体験	23
2月13日より4回体験 体験ボラ活動24日間	三中 3年生	車椅子、手話、点字、バリアフリー 市内6施設へ	111 受入施設6

児童・生徒のボランティア活動の普及を図るため「児童・生徒のボランティア活動普及事業協力校」を指定。(福生第五小学校・福生第一中学校・福生第二中学校)

「福祉まつり2003」:実行委員会方式により各関係機関及び地域住民の協力を得て、福祉事業の啓発と普及に努めた。

(ボランティア数:750人 一般市民参加者:3400人)

東京ボランティア・市民活動センターと共催で「夏!体験ボランティア」を開催し、市内の施設、団体、NPO法人、行政との協力により子どもからお年寄りまで参加できるよう体験の場を提供した。

(参加者数:156人 活動メニュー:78活動 受入協力施設・団体・機関・NPO法人 42団体)

(2)連絡調整活動

ボランティア活動を行う者が、互いに助け合い協力し合うことにより、それぞれの活動が更に推進されるために、福生ボランティア連絡協議会の援助に努めた。

近隣のボランティア・センターとの連携強化を図り西多摩地区共有のボランティアの情報化に努めた。
ボランティア団体、行政、地域団体、NPO法人等と連携し円滑なる活動の推進に努めた。

(3) 養成・研修活動（各種講座）

講 座 名	回 数	参加者数
ボランティアスクール入門編	2	7
中級音訳ボランティア講座 「福生いとでんわ」と共催	14	177
手話講習会（「手話講習会運営委員会」運営） 初級(昼)	35	908
中級(夜)	35	503
初級点字講習会 「点字サークルほたる」と共催	12	60
交通安全体験講習 協力 福生警察署 福生市交通安全推進委員会	1	110
子育て支援講習会	9	182
身近な自然に親しむ講座 NPO法人自然環境アカデミー・NPO法人集住グリーンネットワーク と共催	4	50
ふれあい・いきいきサロン講習会	1	48
交通安全講習会 協力 福生警察署 福生市交通安全推進委員会 運転ボランティアグループ	1	33

(4) 基盤整備

福生ボランティア・センターから「ふっさボランティア・市民活動センター」に改称し、様々な活動者から構成される、運営委員会を設置し、センター機能の強化に努めた。

・第一回運営委員会 日時:平成16年3月25日 午前10時 場所:福祉センター

(内容) ・委嘱状の交付 ・正副委員長の選出 ・「センター」について

安心してボランティア活動ができるようボランティア保険の加入促進に努めた。

(加入者数: 1550人)

ボランティア活動の普及を図るため、ボランティア・センターにおける、ボランティア関連相談及び活動の需給調整相談に努めた。(相談件数:421件 ボランティア派遣依頼数:96件 派遣人数:745人)

ボランティア・市民活動推進に伴う資料等の整備、充実に努めた。

福祉センター内に「NPO・ボランティア・市民活動情報コーナー」を設け、市内のグループ情報、市内外の活動情報、講座等の情報、各種助成金情報を収集し、市民への情報提供に努めた。

障害児をはじめとする地域の子どもの遊び場として、また市民の交流の場として月2～3回福祉センター内の保育室においてボランティアの協力によりおもちゃの図書館を開設。

(延利用者数:338人 延ボランティア数:259人)

ボランティアの協力により、福祉センター、かえで会館、白梅会館にて、妊婦、乳幼児とその保護者を対象にフリースペースのほっとできる場所(ほっとひろば)を実施した。

福祉センター(月2回 延べ大人613人 子ども703人)

かえで会館(月2回 延べ大人60人 子ども60人)

白梅会館(月1回 延べ大人30人 子ども38人)

講座、研修会、講演会など、市民誰もが参加できる場に「一時預かり保育」と「手話通訳者」の配置に努めた。